

## 中間評価（案）一覧表

分野	番号	領域	タイプ	研究課題名とその概要		研究代表者	H19 委託額(千円)	中間評価(案)※
ソフト分野	18-1	1	Ⅲ	課題名	道路の整備・維持管理費用、環境費用を考慮した受益者負担の仕組みに関する研究	一橋大学 大学院教授 根本 敏則	5,600	B
				概要	道路整備に係わる新しい受益者負担の仕組みを構築するため、諸外国の制度との比較分析、費用・負担の実態整理を行い、より柔軟な有料道路制度、対距離課金の提案を行う。			
ソフト分野	18-2	2	Ⅰ	課題名	駐車場デポジット制度による受容性と柔軟性の高い都心部自動車流入マネジメント施策の研究と実証	名古屋大学 大学院教授 森川 高行	16,000	A
				概要	都心部の交通環境を改善するため、ITS を活用して「入域賦課金」と「駐車政策」を組み合わせた、「日本型ロードプライシング」を開発する。			
ハード分野	18-3	7	Ⅱ	課題名	センサーネットワークを利用した次世代型斜面防災システムの構築	立命館大学 教授 深川 良一	25,000	A
				概要	限られた資源で斜面崩壊を予知し災害を未然に防ぐため、センサー技術、情報通信技術、地盤工学を用いて、低コスト、運用の容易さ、高い信頼性、斜面状況の監視精度向上が実現可能な斜面防災機器・システムの開発を行う。			
	19-1	7	Ⅱ	課題名	凍結融解作用を受ける斜面の崩壊予知・災害危険度評価システムの確立	北海道大学 大学院教授 三浦 清一	8,000	B
概要	積雪寒冷地を対象とした寒冷地地盤災害対策に資するため、現地ボーリング調査や実物大フィールド試験、室内模型実験、室内要素試験等により、積雪寒冷地にある破砕性帯水斜面の安定解析手法を実務レベルで確立し、災害発生ハザードマップの作成や地盤災害危険度の提案などを通して、破砕性帯水斜面の崩壊予知・災害危険度評価システムを確立する。							
19-2	7	Ⅰ	課題名	津波による道路構造物の被害予測とその軽減策に関する研究	九州工業大学 教授 幸佐 賢二	12,000	B	
概要	巨大地震に伴う津波による甚大な被害を防ぐために、スマトラ沖地震発生時の津波による橋梁を中心とする道路構造物の被害状況の分析を通じて、津波が道路構造物に及ぼす影響について検討するとともに、その軽減策の確立を図る。							
19-3	8	Ⅱ	課題名	各種道路橋床版における疲労損傷の非破壊検査システムに関する研究開発	大阪大学 大学院教授 鎌田 敏郎	19,950	B	
概要	道路橋に主に使用されている鋼床版、RC床版、合成床版に発生する疲労損傷において、現場での目視確認が困難なために問題となっている損傷を対象として、サーモグラフィによる赤外線撮影法（鋼床版）、衝撃弾性波法（RC床版、合成床版）等、高精度で効率の高い床版種別ごとの非破壊検査システムを構築する。							
*網掛け部分はH19年度採択の研究課題を示す。						計6課題	86,550	

## ※研究継続の妥当性評価

A: 現行のとおり推進	研究は順調に実施されており、現行のとおり推進することによって十分な研究目的が達成される見込みである。
B: 現行のとおり推進 (指摘事項有り)	研究は順調に実施されているものの、十分な研究目的を達成するためには、評価者からの指摘事項に留意の上、推進することが必要である。
C: 研究計画を修正の上推進	このままでは十分な研究目的の達成が期待できないと思われるので、評価者からの指摘事項を踏まえ、研究計画を修正の上、推進することが必要である。
D: 中止	現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難と思われるので、研究を中止することが妥当と判断される。